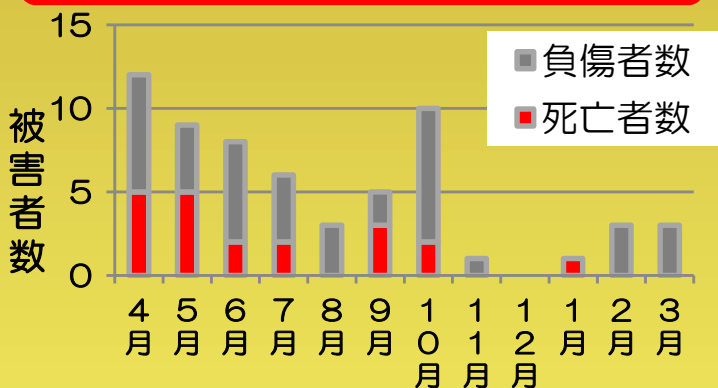


随時記者発表

項 目	「令和5年秋のヒグマ注意特別期間」について																																																						
区 分 等	発 表	月	日	時 分																																																			
	資料配付	8月30日	11時00分	説明者																																																			
配 付 資 料	普及啓発ポスター「秋はヒグマに注意」 リーフレット「ヒグマとのおつきあい」 ヒグマによる人身被害について																																																						
発 表 要 旨	<p>道では、ヒグマによる人身被害を防止するため、過去に被害が特に多く発生している春と秋に、北海道ヒグマ注意報等発出実施要領に基づき「ヒグマ注意特別期間」を設定し、道民等への注意喚起に努めているところです。</p> <p>本年もキノコ採りやハイキングなどで山野に出かける機会が多くなり、また、冬眠に備えヒグマの活動が活発になる季節を迎えるに当たり、「秋のヒグマ注意特別期間」を設定し、道民等に注意喚起を行います。</p> <ol style="list-style-type: none"> 令和5年秋のヒグマ注意特別期間 令和5年9月2日（土）～令和5年10月31日（火）までの60日間 普及啓発方法 <ol style="list-style-type: none"> 普及啓発ポスターの掲示、リーフレットの配付 振興局での掲示・配付を行うとともに、町や関係機関に対して庁舎ロビー、公民館、博物館、図書館、キャンプ場、ビジターセンターなど、広く住民に触れる場所へのポスター掲示、来訪者へのリーフレット配付を依頼。 広報誌等への掲載 町に対して、広報紙等による住民への注意喚起を依頼。 啓発内容 野山でヒグマに遭遇しないために、次の基本事項を周知する。 <ul style="list-style-type: none"> 野山に入る前には、市町村などのヒグマ出没情報を確認する 単独行動は避け、複数で行動する 鈴や笛など音の出るものを鳴らす ヒグマのフンや足跡を見たら、すぐに引き返す など (URL:https://www.pref.hokkaido.lg.jp/ks/skn/higuma/kihon.html) 参考 <ul style="list-style-type: none"> 管内における過去の秋期ヒグマ目撃数 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R 2</th> <th>R 3</th> <th>R 4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>9月</td> <td>41</td> <td>23</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>10月</td> <td>19</td> <td>35</td> <td>12</td> </tr> </tbody> </table> ヒグマ捕獲数 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">R 2</th> <th colspan="3">R 3</th> <th colspan="3">R 4</th> </tr> <tr> <th>狩猟</th> <th>許可</th> <th>計</th> <th>狩猟</th> <th>許可</th> <th>計</th> <th>狩猟</th> <th>許可</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>全道</td> <td>39</td> <td>891</td> <td>930</td> <td>45</td> <td>1,011</td> <td>1,056</td> <td colspan="3">未集計</td> </tr> <tr> <td>管内</td> <td>1</td> <td>66</td> <td>67</td> <td>0</td> <td>99</td> <td>99</td> <td>0</td> <td>83</td> <td>83</td> </tr> </tbody> </table> 					R 2	R 3	R 4	9月	41	23	12	10月	19	35	12		R 2			R 3			R 4			狩猟	許可	計	狩猟	許可	計	狩猟	許可	計	全道	39	891	930	45	1,011	1,056	未集計			管内	1	66	67	0	99	99	0	83	83
	R 2	R 3	R 4																																																				
9月	41	23	12																																																				
10月	19	35	12																																																				
	R 2			R 3			R 4																																																
	狩猟	許可	計	狩猟	許可	計	狩猟	許可	計																																														
全道	39	891	930	45	1,011	1,056	未集計																																																
管内	1	66	67	0	99	99	0	83	83																																														
報道に当たってのお願い	人身被害発生防止のため、基本的なルールを守ることを含め、積極的な報道をお願いします。																																																						
担 当	北海道日高振興局保健環境部環境生活課 環境生活課長 中村賢洋 自然環境係長 栗林稔 電話（直通） 0146-22-9254																																																						

秋はヒグマに注意

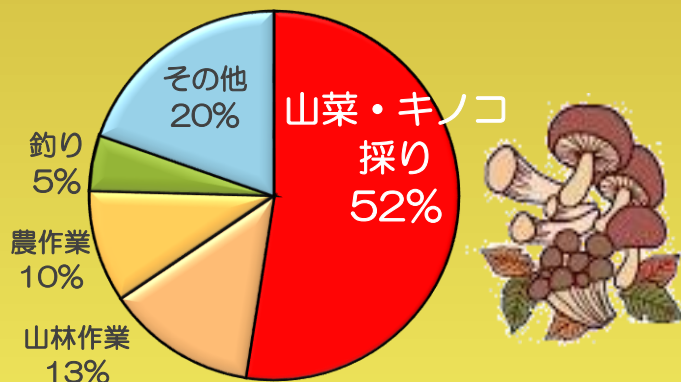
人身被害は春と秋に多く発生



発生月別のヒグマによる人身被害者数

(平成元年度～令和5年7月末 狩猟者が被害者の事例を除く)

被害の1/2は山菜・キノコ採りで発生



被害発生時の被害者の活動

(平成元年度～令和5年7月末 狩猟者が被害者の事例を除く)

秋のヒグマ注意特別期間

令和5年 9月2日(土) ~ 10月31日(火)

あなたが被害者にならない一番の方法は

ヒグマに遭わないことです

食べ物やゴミは必ず持ち帰る

一人では野山に入らない

野山では音を出しながら歩く

事前にヒグマの出没情報を確認する

薄暗いときには行動しない

フンや足跡を見たら引き返す

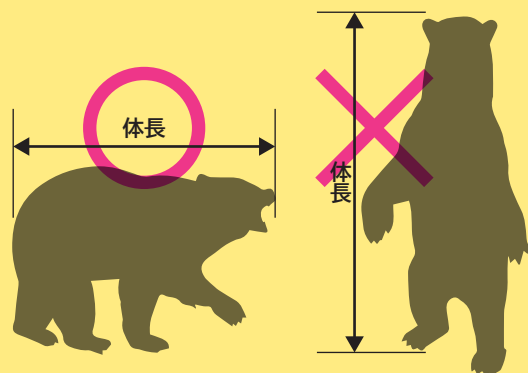
※ 人里周辺などでヒグマを目撃したときは、市町村役場または警察にご連絡ください。

北海道環境生活部自然環境局野生動物対策課ヒグマ対策室

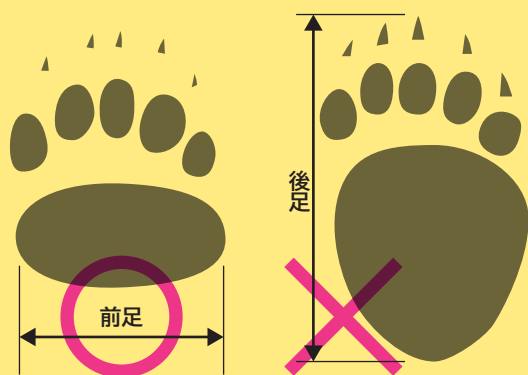


ヒグマの「大きさ」は ここを計測!

●体長 鼻先からお尻までの長さ



●足跡 前足の幅の長さ



人里周辺で、**ヒグマ**や**痕跡**を
発見した時は、**警察**または、
市町村役場にご連絡ください

ヒグマに注意! SNSやアプリなどの登録を

北海道では、近年、市街地にまで姿を現すヒグマが問題となっています。

北海道では、ヒグマが頻繁に市街地に出没したり、ヒグマによる人身事故が発生した場合に「ヒグマ注意報」「ヒグマ警報」を発出し、SNSなどを活用して情報発信しています。

ぜひ、ご登録いただき、ヒグマの出没に備えましょう。

北海道ヒグマ 登録して備える 注意報・警報



北海道庁公式
Twitter
@PrefHokkaido



Yahoo!
防災速報



北海道庁HP
ヒグマ注意報



あなたとヒグマの共存のための

ヒグマとの おつきあい

北海道の多くの地域は
ヒグマの生息地です。



北海道環境生活部

ヒグマの生態

●オス

体長：2.0m弱
体重：約150～400kg

●メス

体長：約1.5m
体重：約100～200kg

●聴覚

聴力に優れ、音に対しては敏感。

●視覚

昼夜を問わず行動できる視力を持ち、目は決して悪くはない。ただ、あまり遠距離の物はよく見えないらしい。

●嗅覚

敏感で、埋めた残飯などもすぐに見つけられます。



●性格

群れを作らず単独や親子で行動。大半のヒグマは警戒心が強く、人を避けて生活しています。

●運動能力

臨機の動作は非常に機敏。その気になれば一撃で牛を倒す事もできます。

人の活動での注意

●出没地域に住む人

ヒグマを引き寄せる生ごみなどを屋外に置かないようにしましょう。出没情報がある時には、夜間や薄暗い時間帯の外出を避けましょう。イヌの散歩は、吠え声でヒグマを興奮させる恐れがあり危険です。

●山菜採り

山菜はヒグマの生息地に生えていることが多いため、単独行動を避け、音を出しながら行動しましょう。

●キャンプ

ヒグマの痕跡のあるところでは、キャンプをしないようにしましょう。

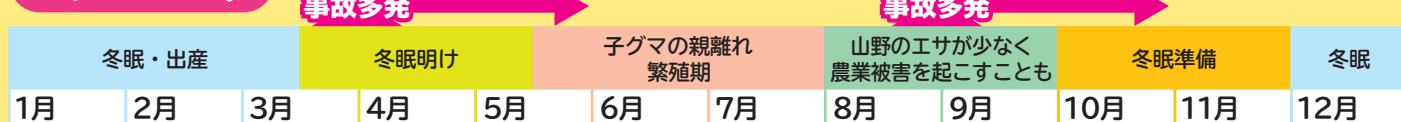
●渓流釣り

水流の音でヒグマも人もお互いに気づきにくくなっていますので、より注意を払います。

●登山

山はヒグマの生息地です。どこでも遭遇すると考えましょう。特に、早朝や日没頃の行動はヒグマと出遭う確率が高くなります。

ヒグマの1年



ヒグマとの事故をなくすために

登山・ハイキング・山菜採りなどでヒグマに出遭わないための行動

ヒグマの出没情報を事前に調べましょう！

市町村のホームページ、SNS、新聞、テレビ、ビジターセンターなどでヒグマの出没情報を確認しましょう。

音を出しながら歩きましょう！

単独で行動せず、複数人で会話しながら歩くと、ヒグマも人の存在に気がつきやすくなります。また、鈴を付けたり、見通しの悪い場所では、手を叩いたり、笛を吹くのもポイントです。

ヒグマの痕跡を見つけたら

ヒグマの足跡、フンや食痕に注意し、見つけたら、安全のために引き返しましょう。



足跡



フン(草本)



食痕(フキ)

ヒグマに出遭ってしまった場合

遠くにヒグマを見つけたら

落ちついて状況を判断してください。ヒグマがこちらに気づいていないなら、その場から静かに立ち去りましょう。

ヒグマがこちらに気づいたら

ヒグマの移動する方向を見定めながら、静かに立ち去りましょう。あわてることは事故につながります。まず落ちつくことです。普通にしていれば、ほとんどのヒグマは立ち去るはずで。

走って逃げるのは自殺行為

ヒグマを刺激しないことです。まず落ちついてゆっくりと後ずさりしてヒグマから目を離さず、その場から離れましょう。

子グマの後ろに必ず母グマあり

可愛いからと近づかないで！

子グマを見つけたら絶対に近づかず、すみやかに立ち去ってください。母グマは子グマを守ろうと攻撃してきます。

それでも近づいてきたら

ヒグマから視線をはなさないでください。そしてヒグマの動きを見ながらゆっくりと後退してください。

襲い掛かってきたら

100%完全な対応ではないですが

北米では、首の後ろを手で覆い、地面に伏して、頸部、後頭部への致命傷を防ぐ方法を勧めています。道内の死亡事故でもこの部分が致命傷となっている事例がみられます。攻撃を止めるためには、クマ撃退スプレーが有効です。

ほんとうの話



人がヒグマを引きつける？

ヒグマは食べ物への執着が非常に強い動物です。生ゴミ(コンポスト含む)や果物、干し魚などの人の食べ物の味を覚えてしまうと、それを目当てに家の近くに繰り返し接近し、人を恐れずに行動するようになります。ヒグマの出没地域に住む人や野山に出かける人は、十分に注意し、危険を避けましょう。



コンポスト



さくらんぼ

【参考資料】

1 「令和5年秋のヒグマ注意特別期間」について

期間：令和5年9月2日（土）～10月31日（火）の60日間

(1) 概要

ヒグマによる人身被害の未然防止を図るため、平成14年度から、道民等が山菜採りやキノコ採りなどのため、ヒグマの生息する野山に入る機会の多くなる春と秋に、北海道ヒグマ注意報等発出実施要領に基づく注意喚起として、「ヒグマ注意特別期間」を設定し、普及啓発事業を実施。

(2) 取組

「野山でヒグマに遭わないための基本的ルール」の普及啓発を図るための取組を実施

<基本的なルール>

- 事前にヒグマの出没情報を確認する
- 単独行動を避け、複数で行動する
- 鈴など音の出るものを鳴らす
- クマの足跡やフンを見つけたら、すぐに引き返す

<取組>

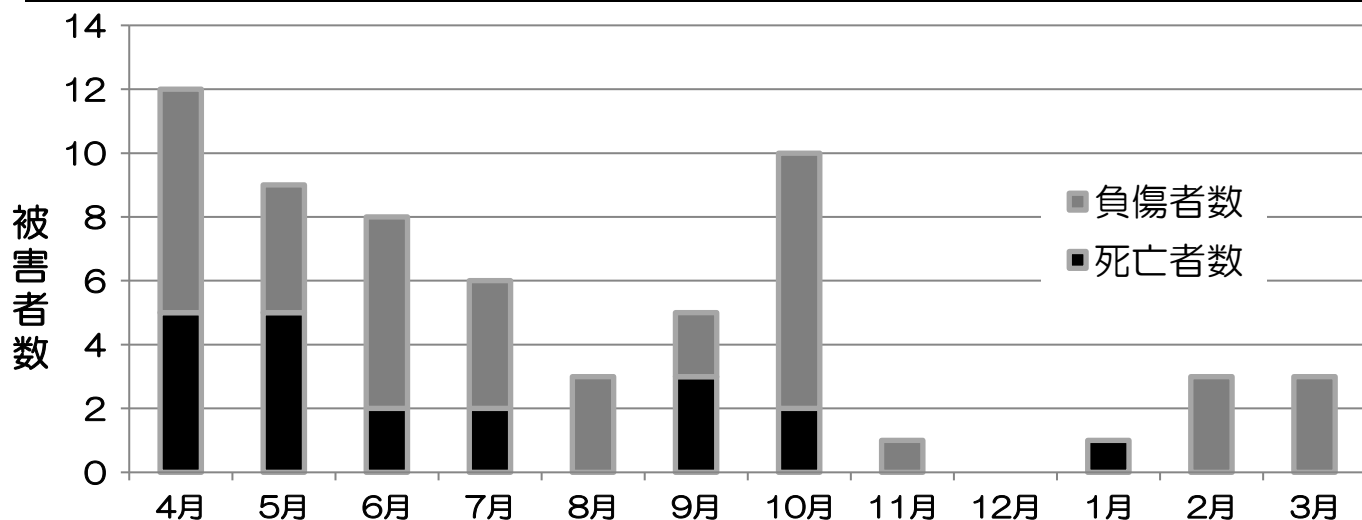
- 総合振興局・振興局職員による巡視活動
- 普及啓発リーフレットの配布
- 道のホームページで市町村のヒグマ出没情報サイトへのリンク集を掲載 など

2 ヒグマによる人身被害について(狩猟や駆除の際の事故を除く)

(1) 月別被害者数（H1～R5年7月末現在の合計）

ヒグマによる人身被害は、特に春と秋に多く発生しています。これは、春は山菜採り、秋はキノコ採りなど、人間が山野に出かける機会が多い季節であることに加え、ヒグマも春は冬眠明けのために、秋は冬眠を控えてともに餌を求めてより活発に活動するため、人間とヒグマが遭遇する確率が高まることが原因と考えられています。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
死亡者数	5	5	2	2	0	3	2	0	0	1	0	0	20
負傷者数	7	4	6	4	3	2	8	1	0	0	3	3	41
合計	12	9	8	6	3	5	10	1	0	1	3	3	61

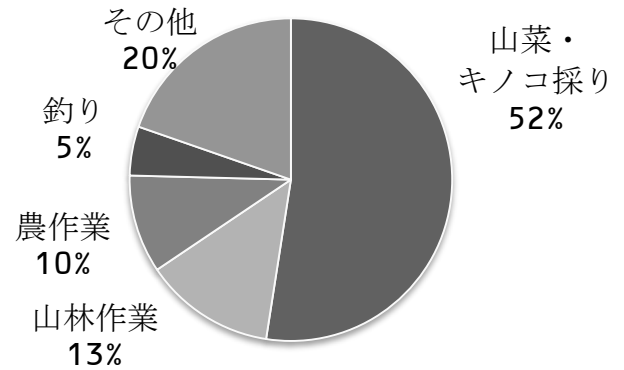


(2) 人身被害発生時の被害者の活動 (H1～R5年7月末現在の合計)

ヒグマによる人身被害発生時の被害者の活動をみると、山菜採り及びキノコ採りが半数を超え最も多く、山菜採りやキノコ採りは特に被害に遭いやすい野外活動といえます。

なお、人身被害で最も多いのは、ヒグマの捕獲に従事しているときに逆襲されるなどで狩猟者が被害に遭うものですが、特殊な事例のためそれらについては除外しています。

被害者の活動	被害者数	内 訳	
		死亡	負傷
山菜・キノコ採り	32	14	18
山林作業	8	1	7
農作業	6	1	5
釣り	3	3	0
その他	12	1	11
合計	61	20	41



〔過去10年間 (H25～) の秋 (9～10月) に発生した事故の概要 (狩猟や駆除の際の事故を除く) 〕

年度	発生日	被害者の活動	発生地	被害者	死傷
H25	9月	やまぶどう採り	渡島管内函館市	63歳男性	負傷
H26	9月	散歩	オホーツク管内滝上町	76歳男性	負傷
	10月	キノコ採り	石狩管内千歳市	59歳男性	負傷
H28	10月	山林作業	釧路管内厚岸町	40歳男性	負傷
H29	10月	キノコ採り	釧路管内白糖町	73歳男性	死亡
H30	10月	キノコ採り	渡島管内八雲町	58歳男性	負傷

H27、R1～4：被害なし